

The 30th

UBE BIENNALE

UBE International Sculpture Competition

第30回 UBEビエンナーレ(現代日本彫刻展)

H A N D B O O K





第30回 UBEビエンナーレ (現代日本彫刻展)

2024. 10.27 — 12.22

【会場】UBEビエンナーレ彫刻の丘
(山口県宇部市ときわ公園内)

UBEビエンナーレ(現代日本彫刻展)は、戦後のまちの美化と心の豊かさを求める市民運動を契機として1961年にはじまった日本初の大規模な野外彫刻展です。2024年3月26日に「最も長く続いている野外彫刻展」としてギネス世界記録®に認定されました。出品作品の一部は、宇部市のコレクションとして市内各所に恒久設置される仕組みで、まちづくりにアートを取り入れた先駆的な試みとして高く評価されています。

この度の第30回展では、世界28か国183点の応募から選出された15点の野外彫刻と、30点の入選模型を展示公開します。常盤湖を望むUBEビエンナーレ彫刻の丘で、天候や時間によって様々な表情をみせる野外彫刻を存分にお楽しみください。



このハンドブック
の使い方

how to use



彫刻って難しそう…

という人のための観賞のヒントを
書いてます。

作品を見て感じたことなどを
書き込めます。

ぬりえもできます。

UBEビエンナーレ 彫刻の丘マップ

UBEビエンナーレライブラリー
彫刻誕生 入選模型展
2024.10.27 - 12.22



ときわミュージアム

徒歩5-7分
ときわ湖水ホール
アートギャラリー

★ は既存作品です。



見上げるほど大きな木に出会った時の感覚から着想された作品です。

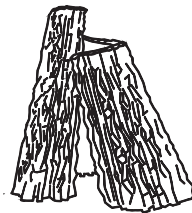
大きな木の、その木陰こかげにすっぽりこと入ってしまえば、燦燦さんさんとした太陽の光が差し込む時も、冷たい雨あめが降る時も、私たちは木に包み込まれたような、心地よい安心感を覚えることでしょう。

木の表皮さいへんせいに着目して、木材を再編成することで内側に巻き込む「ガウン」のような形態が出来上がりました。ぜひ中に入って木のぬくもりを体感してみてください。

01

THE FOREST GOWN
フォレストガウン

石上 和弘
ISHIGAMI Kazuhiro





さくら
桜の花びらは一瞬にして散ってしまいます。
この作品はピンク色に染まった桜散る風景の
瞬間的な美しさから着想して制作されました。
縦に積み上げられたピンク色の3つのキュー
ブは、粉状のガラスを発泡剤と一緒に加熱す
ることですべてできています。

作者が生活の中で覚えた小さな感動の瞬間
が、作品を通して私たち見る者にも共有され
ます。

02

サクラの柱
Sakura pillar

袁 方洲
YUAN Fangzhou





すいちよく 垂直方向に積み上げられた3種類の石。たて
縦
方向の動きには、生き物が大地から生まれ、
その命が終わり、また大地に還^{かえ}っていく、生
命の営みのイメージが託^{たく}されています。石を
ちよくせつ^ま直接彫^{うず}ることで、渦や組み紐、動植物の形態
をドローイングしています。これらは古くから
ちいき^こ地域を越えて用いられてきた文様です。

目には見えないけれども、時代を通して共通
する「単純^{たんじゆん}で大切なこと」について、作品に
寄り添^そいながら考えてみるのもいいかもしれ
ません。

03

Hito_ita-k021 Jun.024

Kyuichi Sato





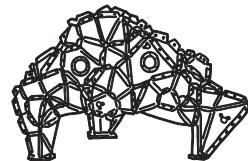
せきらんうん
積乱雲のようにもくもくと立ち上がる形の「雨
雲ヒュッテ」。

ヒュッテとは山小屋という意味ですが、二つ
なら
並んだ丸窓はまどは目のようにも見え、ボルトで結
合された様子はロボットみたいで、今にも歩
き出しそうです。

雲の中に入ってみると、どんな世界が広がっ
ているでしょうか？作品の足をくぐって中に
入り、一息つくのもいいですね。

04

雨雲ヒュッテ
AMAGUMO hütte



大西 治・大西 雅子
OHNISHI Osamu・OHNISHI Masako



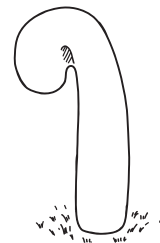
大きな原石から削り出され磨かれた大理石が、柔らかな曲線を描きます。作者は「この像のまわりに訪れる人がいて、はじめて完成を迎える」と語ります。作品に近づき、優しくふれてみてください。何を感じましたか？見る人が感じたことが「IMAGINE」の完成形なのです。

それぞれに違った思いを持つ人が訪れて、それぞれに違った思いを受け止める。自分だけの「IMAGINE」を完成させてみてください。

05

IMAGINE
イマジン

藤井 浩一朗
FUJII Koichiro





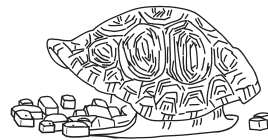
黒くて大きな^{かめ} 亀の^{こうら} 甲羅があり、その中に^{しばふ} 芝生
が^{こうら} クッションのように置かれています。甲羅は
^{かめ} 亀が^{かいてき} 外敵から身を守るための^{ぼうぎょ} 防御システム
です。一方で見るものにとっては、その^{かめ} 亀を
美しく見せる^{そうしよくぶつ} 装飾物のようにも思えます。

外から^{こうら} 甲羅の美しさを楽しんだり、作品の中
から周りの景色を^{なが} 眺めたりすると、どのよう
なことに気づくのでしょうか？

「自然は私たちに、人生の生き方や身の周り
のものに美しさを見出す方法を教えてくれる
もの」だと作者は言います。あなたにとって
の自然はどのようなものなのでしょうか？

06

The Carapace
キャラベース



Chatchawan AMSOMKID
チャチャワン アムソムキッド



だれ 誰かに手紙を送る時のことを想像してみてください
そうぞう
ください。紙に書いて、二つに折ってそれを封
ふう
筒に入れる。この作品は、両端を揃えて、ま
とう りょうたん そろ
さに折り目を入れる一歩手前の紙の形がモ
チーフになっています。

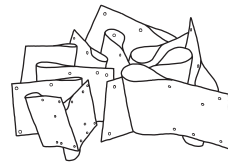
十二通の手紙は、一人の人が何通も出した
手紙なのでしょうか？十二人が書いた手紙な
のでしょうか？

そのそれぞれに物語があり、合わさること
でまた新しい物語が生まれ、それを見た人の
心にも新しい物語が生まれるのだと思いま
す。

07

十二の物語 Twelve Stories

小笠原 伸行
OGASAWARA Nobuyuki





「おやつが欲しいのか散歩なのか遊んでもらいたいのか。要求が通るまでとにかく見てくる犬」。作者と飼い犬の言葉を介さぬ対話から生まれた作品です。

彫刻の丘には、おすわりをした巨大な「見てくる犬」が現れました。嬉しいのか、悲しいのか、怒っているのか、どんな気持ちでいるのでしょうか？そして一体何を見ているのでしょうか？想像を膨らませてみてください。

08

見てくる犬
dog staring at me

佐藤 一明
SATO Kazuaki





作者は「久しぶりに会った人を見て、時間を感じた。と同時に自分にも同じ時間が流れていました。」と語ります。

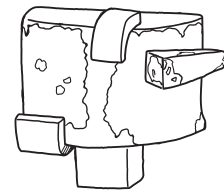
ゆったりとした時の流れを、鉄が錆びていく様子に託した作品です。

作品を見つめながら、ゆっくりと過去を振り返ってみてください。久しく会っていなかった人に会いたくなるかもしれません。

09

カノ女の父
Father of the girl

松村 明育
MATSUMURA Haruyasu





ひょうぶ
屏風のような形のこの作品。雲と雲の隙間
すきま
からは常盤湖とぎわこが望めます。

ひょうぶ えが
屏風に描かれているのは、宇部うべの歴史れきしです。
作品を見て、それから、作品越こしに見える
宇部うべの風景うらに目を移うつすことで、このまちの過去かこ
と現在げんざいを自由じゆうじさい自在じざいに行き来することができる
でしょう。

10

宇部版洛中洛外図屏風
RAKUCHU RAKUGAI-ZU
FOLDING SCREEN UBE Ver.

桑田 覚
KUWATA Satoru





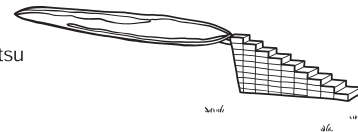
階段の先に、キラキラと周りの景色を反射させて、風に流されこちらにやってきたような雲がついています。もしも、空に浮かぶ雲から階段が伸びてきて、そしてそこに乗ることができたらどんな心地だろう、と想像力を膨らませてくれる作品です。

雲は柔らかいのでしょうか？意外と硬いのでしょうか？雲の上から見る景色はどうでしょうか？作品を見て想像してみてください。

11

そのさきにあるもの
something exists in the future

関 玄達
SEKI Gentatsu





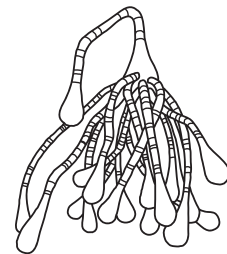
種から芽が出て、やがて大木へと成長していく長い旅路の第一歩、その瞬間を表現した作品です。色とりどりの空間にぜひ足を踏み入れてください。

丸みを帯びた部分は、種に見えたり、新芽に見えたり、水滴のようにも見えたりします。そのまわりを歩き、そっと触れ、抱きしめてみてください。新しく芽吹いた生命が持つはつらつとした力強さを感じることができるでしょう。

12

The Seed
シード

DAM Dang Lai
ダム ダン ライ





神社の鳥居とりいのような形をした作品。よく見るとその装飾そうじよくはギリシャの神殿しんでんの列柱のように見えます。

ギリシャ出身で後に日本に帰化した作家ちよさくかラフカディオ・ハーンこいずみやくも（小泉八雲しょうがいの）の生涯せいぎや作品えいさくから影響せいさくを受け制作された作品です。

この作品では、ギリシャ文化の中で生きる作者しんわせいらが日本文化みとの中に親和性しんわせいを認め、それを自国の文化ゆうこくと融合ひょうげんさせる形で表現しました。

作品を見ながら、日本のこの彫刻ちようこくの丘おかから遠いギリシャの地へ思いはを馳せてみてはいかがでしょうか。

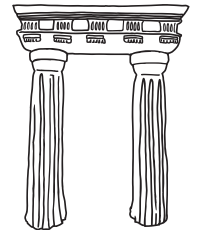
13

Yakumo-Lafcadio, Doric Torii

ヤクモ ラフカディオ
ドリック トリイ

Kousioglou-Stai

クウシオグル スタイ



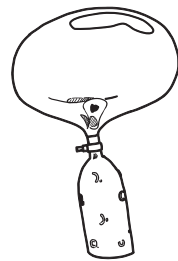


宇部市が工業都市として栄えてきた歴史を
ガスボトルの工業的なイメージに託し、そこ
から着想した作品です。表面の凹凸は水の
波紋を表しており、中からO₂（酸素）が溢れ
出てくるように見えます。ガスボトルの口から
は空気が外へ膨らんでいくようで、作者の暮
らす台湾と日本との未来に思いを馳せて制
作されました。

空に向かって大きく膨らんだ「フリーエア」を
眺めることで、自由に心を解き放つことが
できるはずです。

14
フリーエア
Free Air

HUANG Yu-Jung
ファン ユジョン





高く伸びた直方体の各辺は、中身が押し出されてはみ出してできたような形になっています。型を用いて、そこに固まる前のコンクリートを抑えつけることで、形成するという制作過程から着想した作品で、偶発的な形態は、空間によってそれが形作られたかのような印象を与えます。

作者は「ネガとポジ、内と外の関係を意識した」と言います。ネガを反転させるとポジができるように、制作の過程と完成した形が表裏一体となった作品なのかもしれません。

15

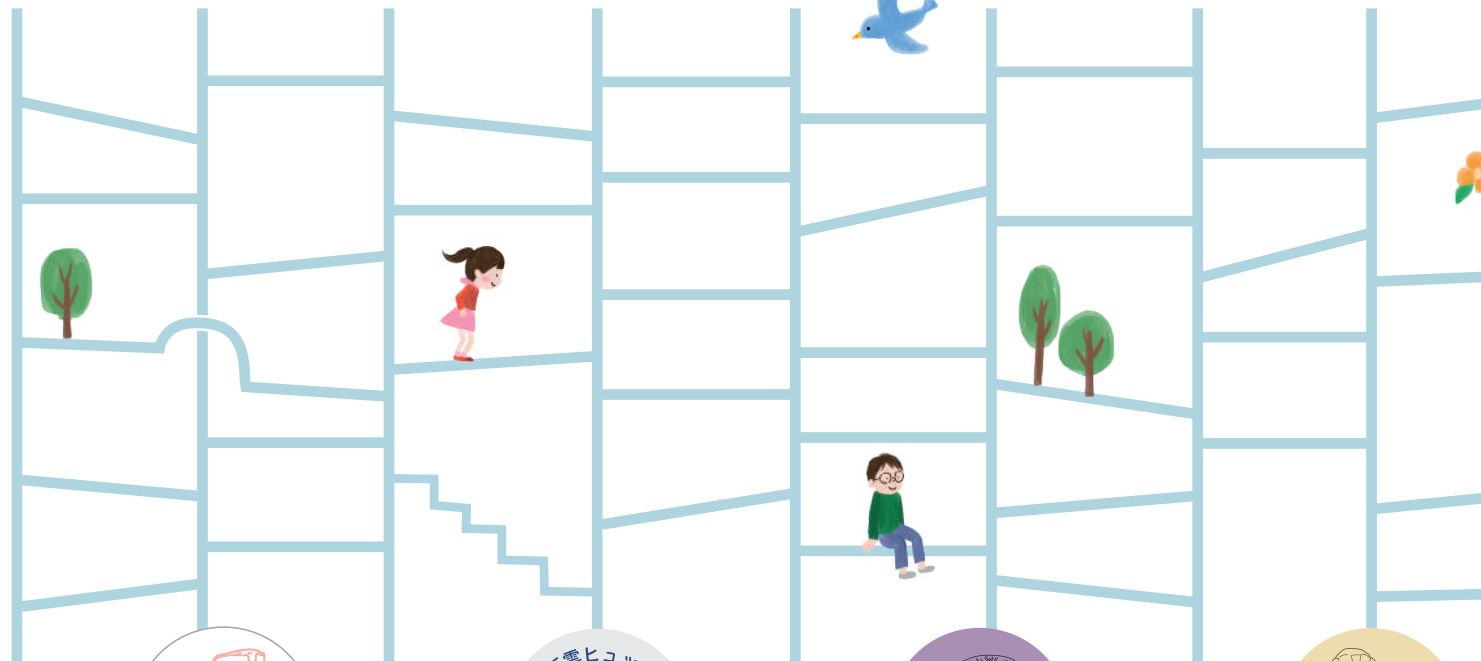
Press block
プレスブロック

渡久地 佑弥
TOKUCHI YUYA

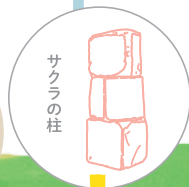




UBE ビエンナーレ彫刻あみだ



3 ページへ



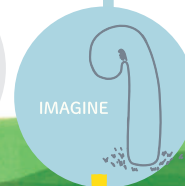
4 ページへ



5 ページへ



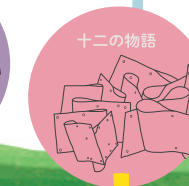
6 ページへ



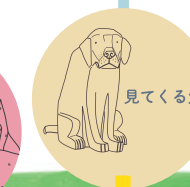
7 ページへ



8 ページへ

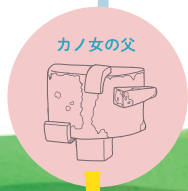
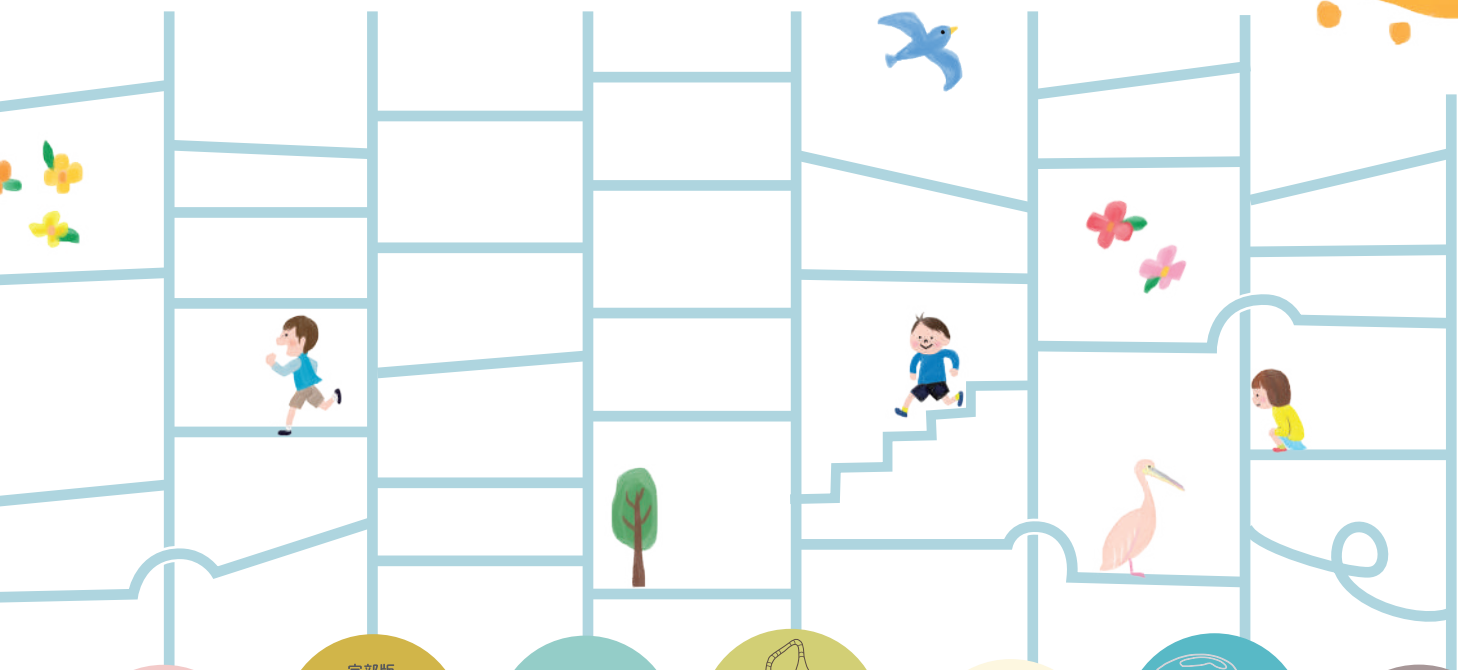


9 ページへ



10 ページへ

どの図刻に
たどり着くかな？



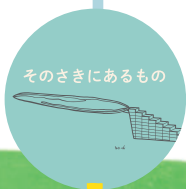
カノ女の父

11 ページへ



宇部版
洛中洛外図屏風

12 ページへ



そのさきにあるもの

13 ページへ



The Seed

14 ページへ



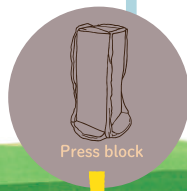
Yakumo-Lafcadio,
Doric Torii

15 ページへ



フリーエア

16 ページへ



Press block

17 ページへ

MEMO

第30回 UBEビエンナーレ（現代日本彫刻展）

[主催] 宇部市、UBEビエンナーレ運営委員会、毎日新聞社

[特別協賛] UBE株式会社

[助成] 令和6年度文化庁文化芸術創造拠点形成事業

[後援] 国際交流基金、山口県、山口県教育委員会、山口県立美術館、秋吉台国際芸術村、山口情報芸術センター、下関市立美術館、九州国立博物館、島根県立石見美術館、北九州市立美術館、NHK山口放送局、tys テレビ山口、KRY 山口放送、yab 山口朝日放送、山口ケーブルビジョン、FMY エフエム山口、エフエムきらら



（ハンドブック）

[編集・発行] UBEビエンナーレ事務局

〒755-8601 山口県宇部市常盤町一丁目7番1号

宇部市 観光スポーツ文化部 文化振興課 UBEビエンナーレ推進係

TEL 0836-34-8562 FAX 0836-22-6083

<https://ubebienneale.com>



公式ウェブサイト

Instagram

UBE
BIENNALE
UBE International Sculpture Competition